



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 協同飼料株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2052 URL <http://www.kyodo-shiryo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 弦巻恒三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 青山 徹 (TEL) 045-461-5711
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	104,626	9.7	△528	—	△770	—	△812	—
25年3月期第3四半期	95,351	△3.7	1,237	—	1,278	—	512	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △623百万円(—%) 25年3月期第3四半期 445百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△8.22	—
25年3月期第3四半期	5.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	51,794	11,911	23.0
25年3月期	51,021	12,832	25.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 11,908百万円 25年3月期 12,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	3.00	3.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,000	8.4	△200	—	△450	—	△900	—	△9.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期3Q	103,995,636株	25年3月期	103,995,636株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	5,204,505株	25年3月期	5,202,303株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期3Q	98,792,835株	25年3月期3Q	98,794,792株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

平成26年3月期の個別業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	116,000	8.38	600	△51.48	500	△62.16	500	11.84	5.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)のわが国経済は、円安・株高傾向を背景とした企業の景況感の改善傾向が見られ、また消費税増税に伴う個人消費の駆け込み需要も見受けられました。

飼料畜産業界におきましては、主原料であるとうもろこし相場は良好な天候に恵まれ豊作となったことから大幅に値を下げましたが、大豆粕は中国及び東南アジア等の需要増加により上昇基調で推移しました。

一方、外国為替相場は円安傾向が継続し、穀物の輸入価格に大きな影響を与えており、また、海上運賃は中国の穀物、石炭需要増大により高値で推移しております。

畜産物につきましては、牛肉相場、豚肉相場、鶏卵相場ともに前年同期を大幅に上回りました。

こうした環境にあって、当社グループの売上高は、配合飼料価格の改定により平均販売価格が前年同期を上回ったため、1,046億2千6百万円(前年同期比9.7%増)となりました。しかし、原材料のコストアップを配合飼料価格に十分に転嫁できなかったことに加え配合飼料価格安定基金の負担増加や畜産物相場の高騰による仕入れコスト上昇分の売価への転嫁が進まなかったこと及び貸倒引当金の計上などにより5億2千8百万円の営業損失(前年同期は12億3千7百万円の営業利益)となり、経常損失は7億7千万円(前年同期は12億7千8百万円の経常利益)と大幅な損失となりました。また四半期純損失も8億1千2百万円(前年同期は5億1千2百万円の四半期純利益)となりました。

セグメント別の業績を示すと次のとおりです。

飼料事業

飼料事業では、配合飼料の平均販売価格が数次にわたる値上げにより前年同期を上回り、売上高は727億3百万円(前年同期比9.1%増)となりましたが、原材料のコストアップと売価のギャップに加えて、数年にわたる配合飼料価格の高騰による配合飼料価格安定基金の財源不足に伴い第2四半期の補てん金不足額の一部を畜産生産者に対して特別対応を実施したこと及び配合飼料価格安定基金の積立金負担の増加等があり、営業利益は9億7千6百万円(前年同期比49.8%減)となりました。

畜産物事業

畜産物事業では、売上高は販売量の増加等により319億2千2百万円(前年同期比11.2%増)となったものの、当社及び連結畜産会社各社で畜産物相場の高騰により仕入れコストが増加した反面、大手量販店との固定価格契約により売価への転嫁が進まず粗利の大幅な減少があり、6億4千5百万円の営業損失(前年同期は1億3千万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態を前期末と比べますと、資産合計は棚卸資産の減少などがあつたものの売上高の増加等に伴い受取手形及び売掛金が増加したことなどにより、517億9千4百万円(前期末比1.5%増)となり、7億7千3百万円増加しました。負債合計は借入金が増加したものの買掛金の増加などにより、398億8千3百万円(前期末比4.4%増)となり、16億9千3百万円増加しました。

また、純資産合計は119億1千1百万円(前期末比7.2%減)となり、9億2千万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月25日に公表しました平成26年3月期の連結業績予想につきましては、本資料において修正しております。

その詳細につきましては、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、税金等調整前四半期純損失となった場合等には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,695	2,417
受取手形及び売掛金	22,657	24,791
商品及び製品	654	922
仕掛品	592	692
原材料及び貯蔵品	5,056	3,613
繰延税金資産	54	75
短期貸付金	211	245
その他	1,633	1,447
貸倒引当金	△35	△29
流動資産合計	32,519	34,176
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,816	2,698
機械装置及び運搬具(純額)	2,341	2,443
土地	3,796	3,521
建設仮勘定	23	109
その他(純額)	390	383
有形固定資産合計	9,368	9,156
無形固定資産		
その他	763	598
無形固定資産合計	763	598
投資その他の資産		
投資有価証券	5,212	5,333
長期貸付金	1,356	1,248
長期未収入金	1,393	1,354
破産更生債権等	478	485
繰延税金資産	1,982	2,146
その他	586	570
貸倒引当金	△2,640	△3,275
投資その他の資産合計	8,370	7,862
固定資産合計	18,502	17,618
資産合計	51,021	51,794

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,709	17,492
短期借入金	8,145	5,766
未払法人税等	171	190
賞与引当金	331	179
その他	2,956	3,431
流動負債合計	26,313	27,060
固定負債		
長期借入金	9,985	11,146
退職給付引当金	1,311	1,357
役員退職慰労引当金	150	145
資産除去債務	273	26
その他	155	147
固定負債合計	11,875	12,822
負債合計	38,189	39,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,199	5,199
資本剰余金	4,749	4,749
利益剰余金	2,847	1,738
自己株式	△524	△524
株主資本合計	12,272	11,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	401	486
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	153	258
その他の包括利益累計額合計	555	745
少数株主持分	4	2
純資産合計	12,832	11,911
負債純資産合計	51,021	51,794

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	95,351	104,626
売上原価	84,947	95,496
売上総利益	10,404	9,129
販売費及び一般管理費	9,166	9,658
営業利益又は営業損失(△)	1,237	△528
営業外収益		
受取利息及び配当金	75	72
その他	316	207
営業外収益合計	391	279
営業外費用		
支払利息	197	192
持分法による投資損失	23	159
その他	130	169
営業外費用合計	350	521
経常利益又は経常損失(△)	1,278	△770
特別利益		
固定資産処分益	8	—
資産除去債務戻入益	—	242
特別利益合計	8	242
特別損失		
固定資産処分損	—	42
固定資産評価損	158	275
特別損失合計	158	317
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,127	△846
法人税等	613	△33
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	514	△813
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1	△1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	512	△812

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	514	△813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83	66
繰延ヘッジ損益	13	0
持分法適用会社に対する持分相当額	1	123
その他の包括利益合計	△68	189
四半期包括利益	445	△623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	444	△622
少数株主に係る四半期包括利益	1	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	飼料事業	畜産物事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	66,645	28,705	95,351	—	95,351
セグメント間の内部売上高 又は振替高	48	—	48	△48	—
計	66,693	28,705	95,399	△48	95,351
セグメント利益	1,944	130	2,075	△837	1,237

(注) 1 セグメント利益の調整額△837百万円には、セグメント間の取引消去△0百万円及び配賦不能営業費用△837百万円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、連結財務諸表提出会社の本社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、従来定率法を採用していた有形固定資産の減価償却の方法を定額法に変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の飼料事業セグメント利益が119百万円増加し、畜産物セグメント利益が11百万円増加しております。また、「調整額」に含まれる各報告セグメントに配分していない全社費用が5百万円減少しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	飼料事業	畜産物事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	72,703	31,922	104,626	—	104,626
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62	—	62	△62	—
計	72,766	31,922	104,688	△62	104,626
セグメント利益又は セグメント損失(△)	976	△645	330	△859	△528

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△859百万円には、セグメント間の取引消去1百万円及び配賦不能営業費用△860百万円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、連結財務諸表提出会社の本社総務等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。